

研究課題：超早産児（22 週～25 週）における投与水分量と intraventricular hemorrhage (IVH) 発症の関係

1. 研究の目的

IVH は早産児における重大な合併症であり、神経発達障害の重要な要因となります。IVH の発症は脳血管が脆弱であることや自律神経系の未熟さに起因することが多く、過剰な水分投与が脳血管内の容量負荷を増加させる可能性があります。今回は投与する水分量と IVH 発症の関連があるかをしらべることが目的です。

2. 研究の方法

2017 年 1 月から 2023 年 8 月までに出生し当院 NICU へ入院した 22 週～25 週の早産児を調べます。

診療録から、IVH の有無、程度、投与水分量、投与薬剤、周産期の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

2025 年 3 月（倫理委員会で承認を得られた日）から 2028 年 3 月まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

カルテの記載から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）、予後を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：新生児科 医員 森 未奈子

研究分担者：新生児科 科長 清水 正樹

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年9月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）